

令和3年2月吉日

各 位

OATアグリオ株式会社

## 「ハチハチ乳剤」適用拡大のご案内

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、かねてよりご協力を賜りました殺虫剤「ハチハチ乳剤」が令和3年2月10日付にて適用拡大登録となりましたので、下記のとおりご案内申し上げます。

今後とも、皆様のご指導ご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

商品名 : ハチハチ乳剤 (第20818号)  
有効成分・% : トルフェンピラド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15.0%  
登録年月日 : 令和3年2月10日 (適用拡大)

<1>適用内容の変更 :

- ・ 適用病害虫名の追加 : だいこん/白さび病 (2000倍)、ねぎ/ネギハモグリバエ (1000倍)
- ・ 適用作物名の追加 : しきみ/アザミウマ類 (1000倍)、発生初期、4回以内

<2>注意事項等の変更

【追加】

「人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法」に以下を追加

- (5) 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後 (少なくとも散布当日) に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

【変更後の適用表】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トルフェンピラト <sup>®</sup> を含む農薬の総使用回数
キャベツ	アザミウマ類	1000倍	100～300 L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
	ハイマダラノメイガ コナガ	1000～2000倍					
はくさい	アオムシ アブラムシ類						
	ナメクジ類	1000倍					
レタス	アブラムシ類 ナモグリバエ	1000～2000倍		収穫30日前まで	1回		1回
	ナメクジ類 べと病	1000倍					
だいこん	アオムシ コナガ アブラムシ類 キスジノミハムシ ハイマダラノメイガ ナモグリバエ カブラハバチ ダイコンサルハムシ 白さび病	2000倍		収穫7日前まで	2回以内		2回以内
かぶ	キスジノミハムシ コナガ ハイマダラノメイガ ナモグリバエ アブラムシ類	2000倍		収穫前日まで			
きゅうり	ウリノメイガ アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類	1000～2000倍		収穫前日まで	2回以内		2回以内
	うどんこ病 べと病 褐斑病	1000倍					
にがうり	アザミウマ類						
すいか	アブラムシ類 アザミウマ類	1000～2000倍					
	コナジラミ類 うどんこ病	1000倍					
ばれいしょ	アブラムシ類 ナストビハムシ	2000倍					
ねぎ	アザミウマ類 アブラムシ類 ネギハモグリバエ ネギコガ シロイチモジヨトウ さび病 べと病	1000倍	収穫7日前まで				
ブロッコリー	アオムシ アブラムシ類 コナガ	1000～2000倍					

(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トルフェンピラト <sup>®</sup> を含む農薬の総使用回数
ピーマン	アザミウマ類	1000～2000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	1回	散布	1回
	チャノホコリダニ コナジラミ類 うどんこ病	1000倍		収穫7日前まで	2回以内		2回以内
にんにく	ネギコガ アザミウマ類 アブラムシ類 チューリップサビダニ さび病			収穫14日前まで	1回		
にら	ネギアザミウマ						
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ チャノホコリダニ チャノナガサビダニ	1000～1500倍	200～400 L/10a	摘採14日前まで	1回	散布	1回
	チャトゲコナジラミ マダラカサハラムシ ツマグロアオカスミカメ						
きく	アブラムシ類 アザミウマ類 ハモグリバエ類	1000倍	100～300 L/10a	発生初期	4回以内		
	白さび病			発病初期			
しきみ	アザミウマ類		100～700 L/10a	発生初期			

【変更後の「人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法」】

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

- (1) 医薬用外劇物。取扱いには十分注意すること。  
誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせること。  
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- (2) 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意すること。  
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (3) 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。  
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (4) 散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡、防護マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣などを着用すること。  
作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをすること。
- (5) 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。